各 位

 $\frac{1}{2}$ 会 社 名 $\frac{1}{2}$ ア ス ク ル 株 式 会 社 代表 取締役社長 岩田彰一郎

(コード番号:2678 東証一部)

問合せ先役職・氏名

A 財務·広報室本部

執行役員 本部長 兼 CFO

玉井 継尋

TEL 03-4330-5130

「2017年5月期 第1四半期連結業績概要」のお知らせ

「平成 29 年 5 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」に関する補足説明の資料として、 添付の「2017 年 5 月期 第 1 四半期連結業績概要」をお知らせいたします。

なお、本資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予想したものであります。 実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、本資料はその実現を確約、保証するものではございません。

また、本資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

以上



1Q順調、中期的な収益極大化に向けた物流投資 積極販促により減益となるも計画を上回る

~LOHACOは5つの施策により2Q以降の成長を加速~

~BtoB事業は戦略分野の商材拡大により安定成長を継続~

2016年9月14日 アスクル株式会社

(ご注意)

本資料には、当社グループの現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。

これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。 実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があり、この資料は その実現を確約したり、保証するものではございません。

なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

本資料における「LOHACO」とは、ヤフー株式会社との提携により2012年10月にスタートした一般消費者向けのオンライン通信販売事業のサービス名称です。

「BtoB」とは、企業 (Business)と企業 (Business)との間で行われる取引を指します。

「MRO」とは、Maintenance, Repair and Operationの略であり、この資料では主に企業が現場で消費する間接材を指します。

当社は、2016年5月期連結業績概要より、新たに「eコマース事業」、「ロジスティクス事業」「その他」にセグメントを分けております。「eコマース事業」はOA・PC用品、事務用品、オフィス生活用品、オフィス家具、食料品、酒類、医薬品、化粧品等の販売事業を行っており、「ロジスティクス事業」は企業向け物流・小口貨物輸送サービスを指します。

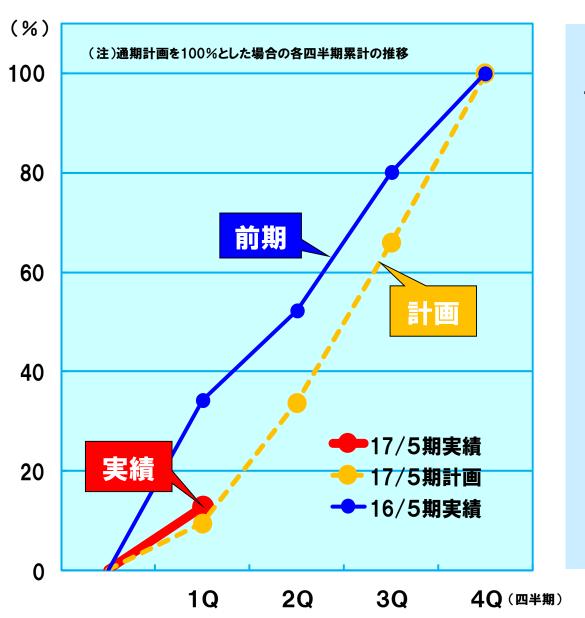
本資料の全部またはその一部(商標・画像等を含む)について、加工の有無を問わず当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- 1 第1四半期実績
- II BtoB事業の状況
- III LOHACO事業の状況

17/5期 第1四半期 連結業績



17/5期 連結営業利益 進捗イメージ



予実対比

- > 売上高
- 〉 営業利益 +3億円

+4億円

> 当期純利益+1億円

計画を上回る

2Q以降の期間損益(3ヶ月)は 増益転換を図る

ASKUL Logi PARK 福岡 ASKUL Logi PARK 横浜

2015年12月 稼動

2016年5月 稼動



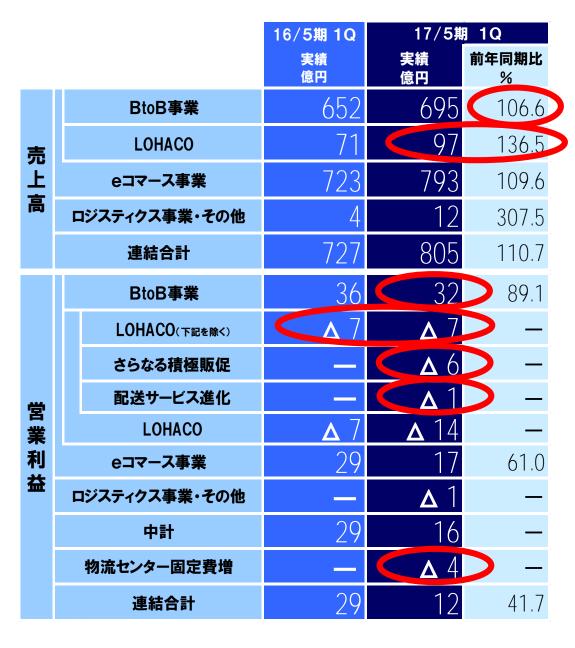






2センター計画通り順調に稼動

17/5期 第1四半期 連結業績【事業別】



> 売上高

BtoB事業は前年同期比106.6% LOHACOは97億円、前年同期比136.5%

> 営業利益

BtoB事業は32億円 為替ポジションの影響を除けば堅調

LOHACOは損益を維持しつつ売上高成長

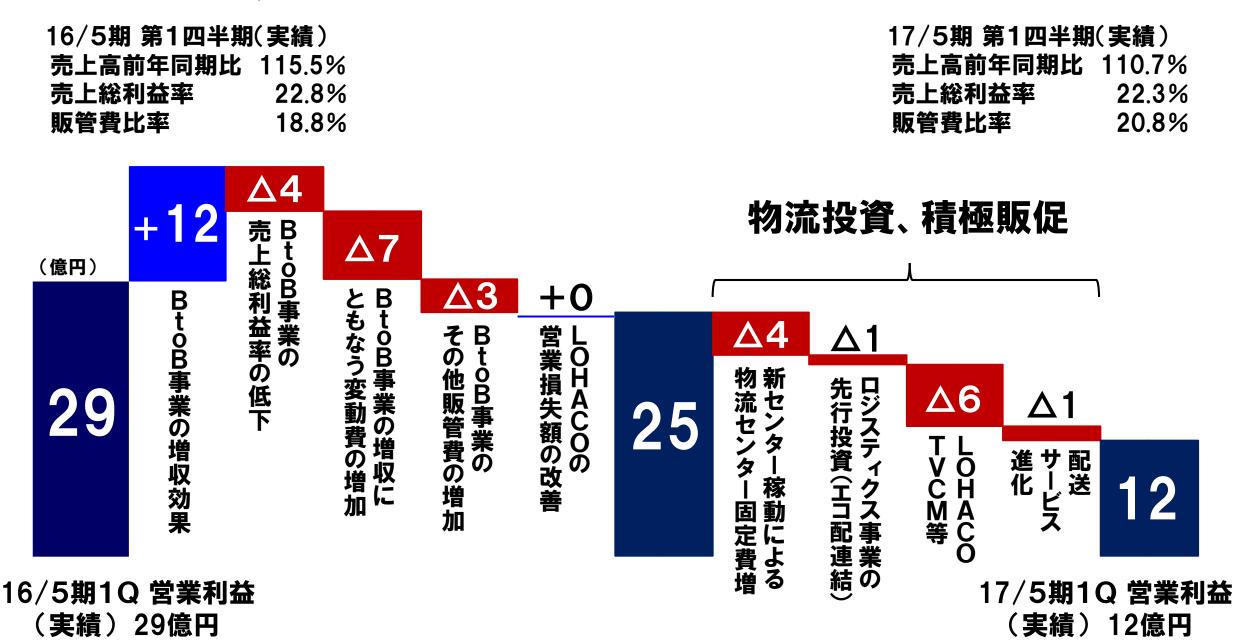
さらなる認知度向上に向け

積極販促を実施△6億円(前期は2Q実施)

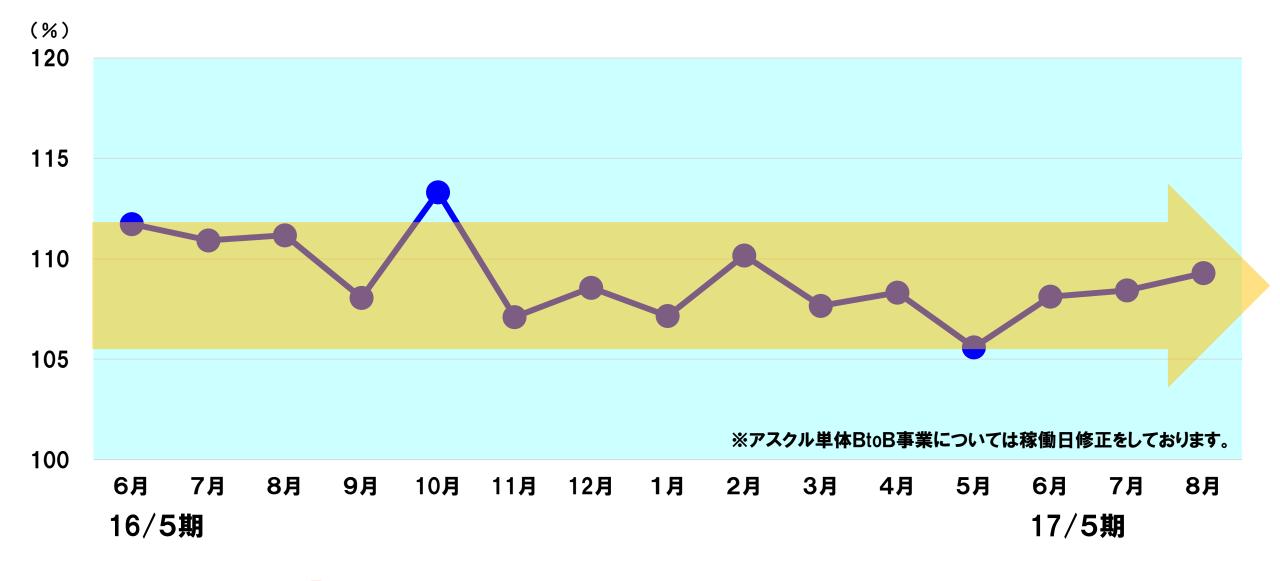
LOHACO新受取りサービス 先行費用を投下△1億円

物流センター固定費増△4億円

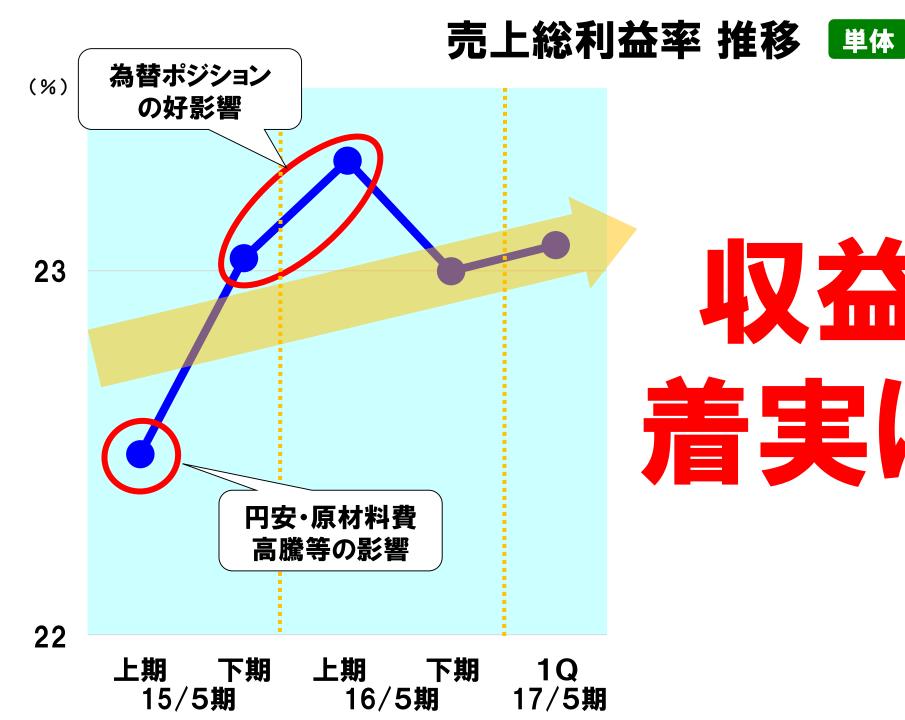
17/5期 第1四半期 連結営業利益の増減要因



連結業績 BtoB事業 売上高前年同月比(稼働日修正後)※



BtoB事業の売上高は引き続き順調



収益性は着実に向上

17/5期 第1四半期 物流関連費用

✓ 物流センター固定費 計画通り 前年同期差 +4億円(地代 +2億円、償却費 +2億円等)

✓ 新センターの生産性向上 計画通り

(オーダー1行あたりの労務単価の推移)

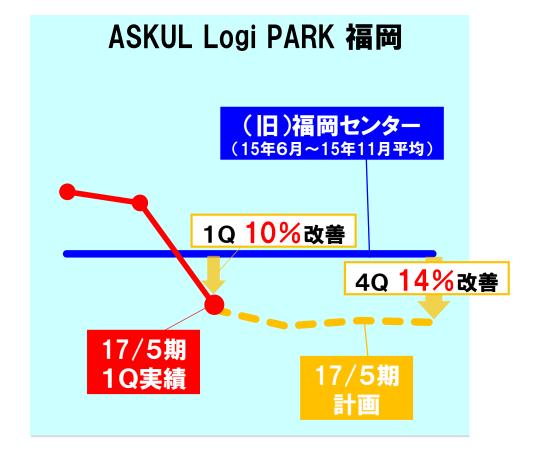
ASKUL Logi PARK 横浜・・・計画対比で良好に推移 ASKUL Logi PARK 福岡・・・計画通り(旧センター比) 10% 改善

✓ Happy On Time先行費用 計画通り
1Qで1億円計上

オーダー1行あたりの労務単価の推移



1Q 2Q 3Q 4Q 17/5期



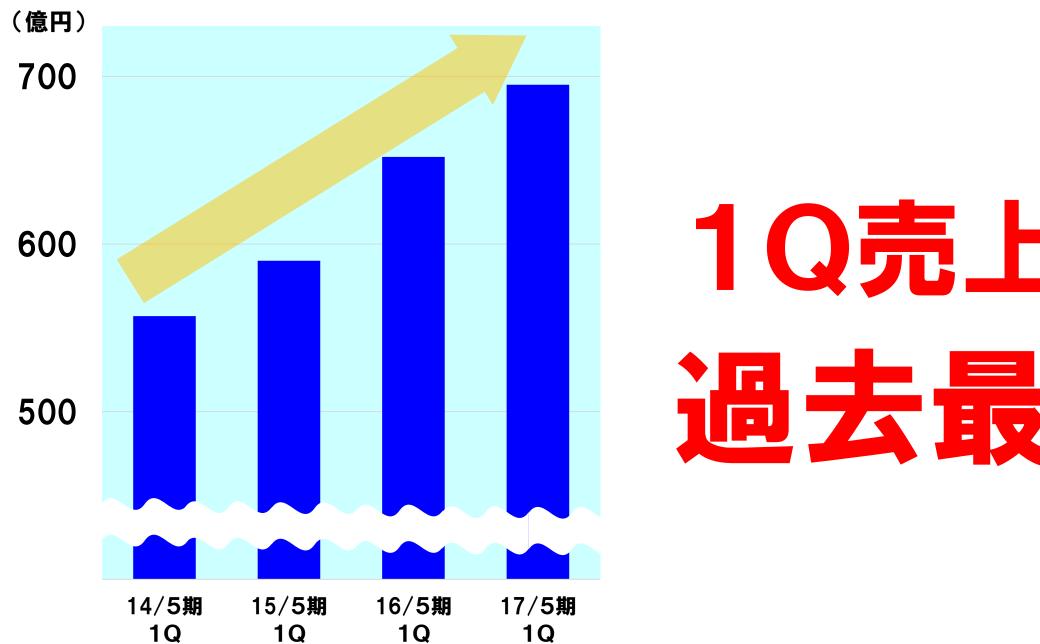
3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 16/5期 17/5期

新センターの生産性は予定通り改善

- 第1四半期実績
- II BtoB事業の状況
- III LOHACO事業の状況

BtoB事業の売上高 2,950 億円 磐石な成長を継続 ・マンショック 02/5期 11/5期 14/5期 05/5期 08/5期 17/5期 **計画・実績** 13

17/5期 第1四半期 BtoB事業 売上高



1 Q売上高

17/5期 BtoB事業 稼働日数(前期差) 月次推移

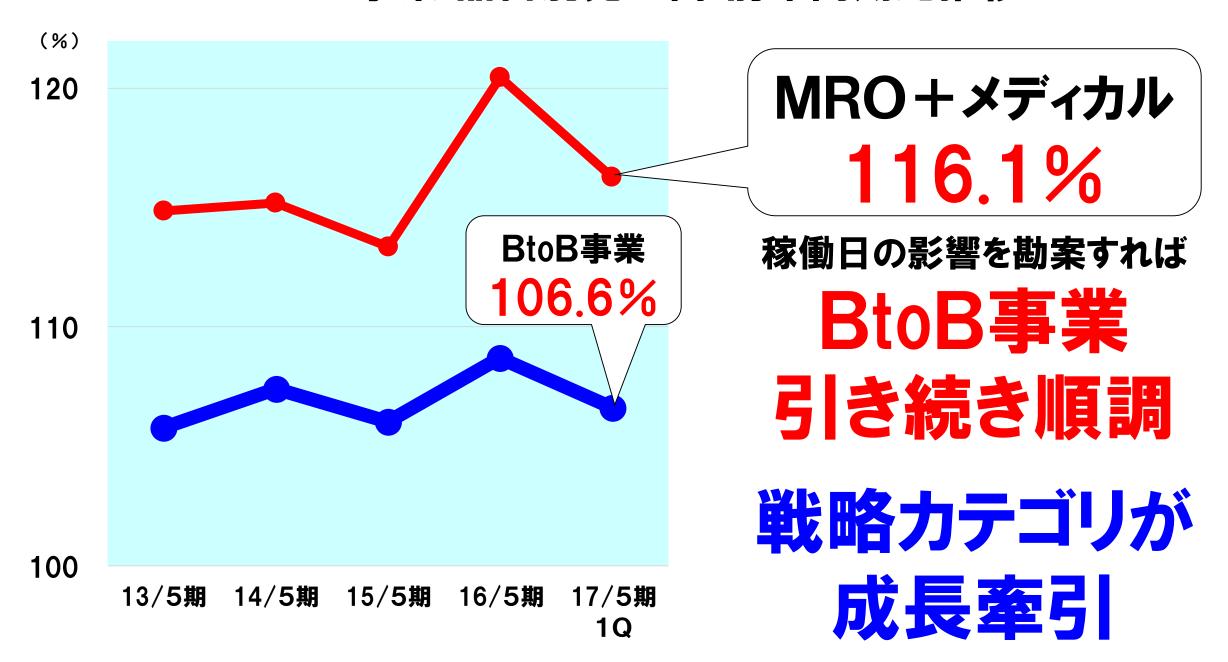
	平日	土曜日
6月度	Δ1	0
7月度	+1	0
8月度	Δ2	+1
1Q	Δ2	+1
9月度	0	Δ1
10月度	+2	0
11月度	Δ2	1
2Q	0	0
12月度	+2	Δ1
1月度	0	+1
2月度	0	Δ1
3Q	+2	Δ1
3月度	Δ1	0
4月度	+1	0
5月度	0	0
4Q	0	0
通期合計	0	0

10稼働日はマイナス影響あり

下期は プラス効果

※稼働日のカウントにはお盆、年末年始等の影響を加味しております。

BtoB事業 品目別売上高 前年同期比推移





「アスクルカタログ2016秋·冬号」 2016年8月発刊

オフィス向けカタログ最新号

定番商品は価格維持競争優位堅持

サイト統合と連動し、メディカルカタログを新創刊

従来のカタログ



〈医療材料カタログ〉 注射・輸液、処置用品 などの医療材料



<メディカル&ケア カタログ> マスク、グローブ、白衣、 医療材料用事務用品など

医療現場の 定番アイテムを一冊に



医療機関向けカタログ

2016年8月発刊

利便性向上により購買促進

メディカル商品のPB化を医療用品にも拡大

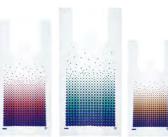


大手メーカーとのダブルネーム

定番品の高品質と低価格を両立















































reddot award 2016 winner brand design

アスクルのPB商品が 世界的なデザイン賞受賞

「レッドドット・デザイン賞※」

コミュニケーションデザイン 「ブランドデザイン」

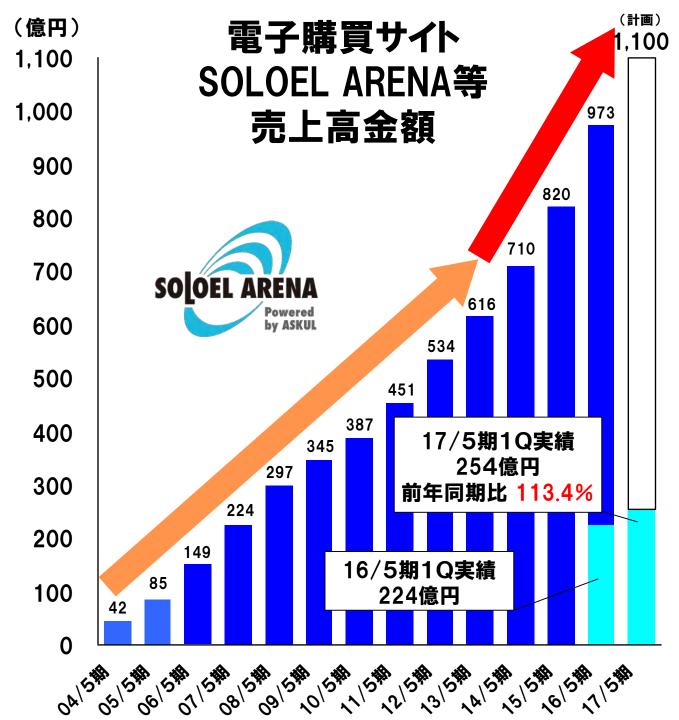
※レッドドット・デザイン賞は、ドイツのThe Design Zentrum Nordrhein Westfalenが主催するデザイン賞で、1954年設立の 世界で最も権威のあるデザイン賞の一つです。



ストックホルム・デザイン・ラボ

ストックホルムを本拠地としてグローバルに活躍。その デザイン哲学はスカンジナビアの伝統に根ざし、シンプ ル、明快、革新的といった理念に基づく。



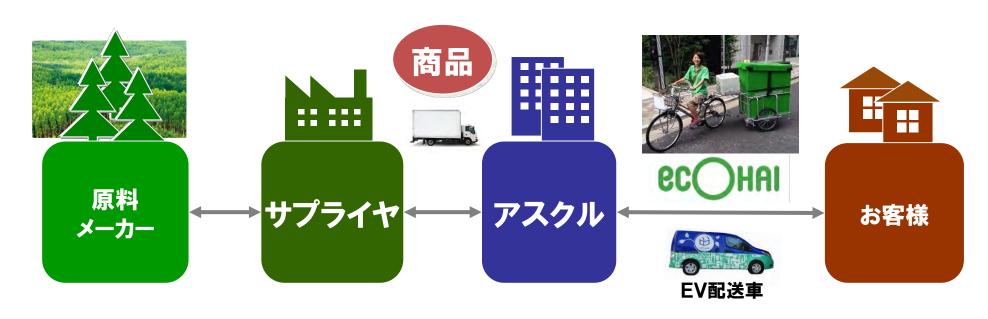


商材拡大により売上高拡大

前年同期比 113%



最も効率的で環境に配慮した 流通の構築をめざす



お客様の期待に応え 連携してCO2削減を実現していく



- 1 第1四半期実績
- II BtoB事業の状況
- III LOHACO事業の状況

第1世代

嗜好品を単品買いする ロングテールのEC











第2世代

いつでも、どこでも、 日常使いのEC





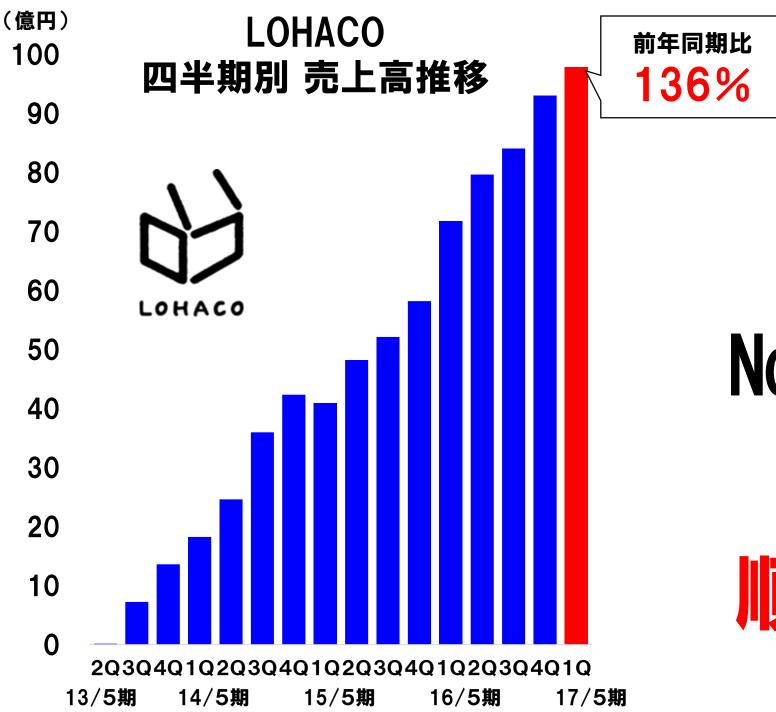












第2世代 No.1に向けて 売上高は 順調に伸張

LOHACOブランド認知度

全国

60_{%→}72.5_{%*}

首都圈在住女性

85.1

%**

※調査開始 2016年7. サンプル数 826ss 調査会社 マクロミル

※調査開始 2016年7月11日 ※※調査開始:2016年7月3日

対象エリア:路線沿線

(東京・千葉・埼玉・神奈川)

サンプル数:900ss 調査会社:楽天リサーチ

CM効果

メインのお客様の認知度向上

LOHACO 成長加速への取組強化策

- ①マーケットプレイスによる 取扱商材の圧倒的拡大
- ②メーカー連携による 差別化商品の拡大
- ③ソフトバンク連携により 新規のお客様拡大
- 4天猫国際、中国向け販売 の拡大
- ⑤Happy On Timeによる 単価・リピート率向上

- 〉お客様数拡大
- > オーダー単価向上
- > リピート率向上

CM効果による認知度向上を活かす 5つの施策により2Q以降の成長加速

PC版

POHACO EXEMPTO V CHOSUSTAY DEV-I NOT BOX ##7×9009# 2727114M 25-1 fashion Pick Up 758°F 200 27954588 195 100 - 740 03779000 ピックアップブラント 2000UI-755-017 D10517 UNTITLED pique marimekted 107 18.89-55 777177 CALIFFRANKSHISH セール中のアイテム

スマホ版



①マーケットプレイスによる 取扱商材の圧倒的拡大

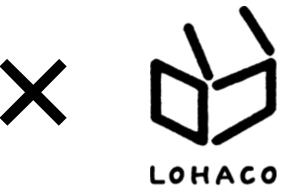
在庫商品との 一括検索・決済可能 お客様の利便性向上 9月13日スタート

マーケットプレイスの第一弾はファッションから 200ブランド、30万アイテムを展開



②メーカー連携による 差別化商品の拡大

アパレル 大手



共同企画の限定商品

②メーカー連携による 差別化商品の拡大





定期便サービスのベータ版スタート



くらしに馴染む



TOKYO MIDTOWN DESIGN TOUCH 2016 2016年10月28日(金)~11月6日(日)

味の素株式会社、味の素ゼネラルフーヅ株式会社、

株式会社伊藤園、UCC上島珈琲株式会社、

エステー株式会社、江崎グリコ株式会社、

王子ネピア株式会社、大塚製薬株式会社、

オルビス株式会社、花王株式会社、

カゴメ株式会社、亀田製菓株式会社、カルビー株式会社、

キーコーヒー株式会社、キリンビール株式会社、

キリンビバレッジ株式会社、

コカ・コーラカスタマーマーケティング株式会社、

サッポロビール株式会社、サントリー酒類株式会社、

資生堂ジャパン株式会社、大王製紙株式会社、日清食品株式会社、

日本製紙クレシア株式会社、ネスレ日本株式会社、

株式会社ハーバー研究所、ひかり味噌株式会社、

プラス株式会社、マルコメ株式会社、マルハニチロ株式会社、

株式会社ミツカン、メロディアン株式会社、

ユニ・チャーム株式会社、

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、

レンゴー株式会社、株式会社ロッテ、ロート製薬株式会社

(敬称略、50音順)

②メーカー連携による 差別化商品の拡大

店頭を通さない 生活者基点のデザイン

参加メーカー数

前回

21

社

今回 36 社予定

当社限定販売商品数

前回

9

アイテム



LOHACO ECマーケティングラボ 3期 101社へ拡大

【第3期参加企業】

アサヒ飲料株式会社、旭化成ホームプロダクツ株式会社、アサヒグループ食品株式会社、アサヒヘルスケア事業本部、 アサヒグループ食品株式会社 和光堂事業本部、アサヒビール株式会社、味の素株式会社、味の素ゼネラルフーツ株式会社、 Anheuser-Busch InBev Japan株式会社、石光商事株式会社、伊藤忠食品株式会社、株式会社伊藤園、宇治の露製茶株式会社、 江崎グリコ株式会社、SSKセールス株式会社、エスエス製薬株式会社、エステートレーディング株式会社、エスビー食品株式会社、 NSファーファ・ジャパン株式会社、王子ネピア株式会社、大塚製薬株式会社、オルビス株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、 カゴメ株式会社、片岡物産株式会社、亀田製菓株式会社、カルビー株式会社、キーコーヒー株式会社、キッコーマン飲料株式会社、 キッコーマン食品株式会社、キューピー株式会社、キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、株式会社キングジム、月桂冠株式会社、 株式会社湖池屋、コカ・コーラカスタマーマーケティング株式会社、コクヨ株式会社、小林製薬株式会社、サーモス株式会社、 サッポロビール株式会社、サンスターグループ オーラルケアカンパニー、サントリー酒類株式会社、サントリーフーズ株式会社、 資生堂ジャパン株式会社、シヤチハタ株式会社、ジョンソン株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 コンシューマーカンパニー、 スリーエムジャパン株式会社、ゼブラ株式会社、第一三共ヘルスケア株式会社、大王製紙株式会社、大正製薬株式会社、 大日本除虫菊株式会社、大鵬薬品工業株式会社、常盤薬品工業株式会社、株式会社トンボ鉛筆、株式会社永谷園、ニチバン株式会社、 日清シスコ株式会社、日清食品株式会社、日本ケロッグ合同会社、日本製紙クレシア株式会社、日本ヒルズ・コルゲート株式会社、 日本ロレアル株式会社、株式会社ネイチャーズウェイ、ネスレ日本株式会社、株式会社ネイチャーラボ、株式会社ハーバー研究所、 ハウスウェルネスフーズ株式会社、ハウス食品株式会社、ハラダ製茶株式会社、ひかり味噌株式会社、株式会社ファンケル、 富士フイルム株式会社、プラス株式会社ステーショナリーカンパニー、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社、ぺんてる株式会社、 ボシュロム・ジャパン株式会社、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、マースジャパンリミテッド、マルコメ株式会社、マルハニチロ株式会社、 株式会社Mizkan、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、三菱鉛筆東京販売株式会社、株式会社明治、メロディアン株式会社、 森永製菓株式会社、山崎産業株式会社、UCC上島珈琲株式会社、ユニ・チャーム株式会社、ユニバーサル・ペーパー株式会社、 ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、ライオン株式会社、ライオン商事株式会社、株式会社良品計画、 レキットベンキーザー・ジャパン株式会社、レック株式会社、ロート製薬株式会社、株式会社ロッテ、株式会社ワコール (敬称略、50音順)

35



③ソフトバンク連携により 新規のお客様拡大

LOHACOが中核の ソフトバンクモール 8月18日スタート

③ソフトバンク連携により 新規のお客様拡大

ソフトバンク契約者数 (主要回線) 3,214

ヤフー 月額有料会員数 (プレミアム会員含む)

1,710 万ID

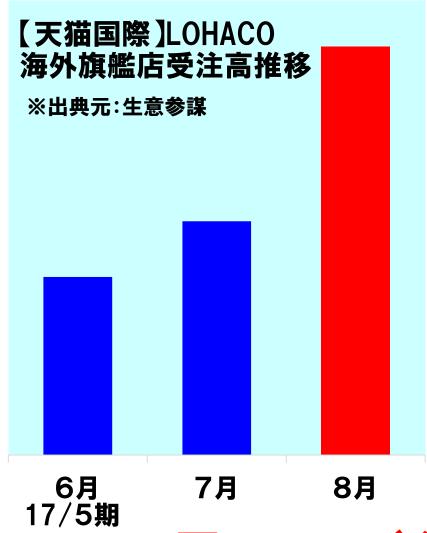
LOHACO 利用者数 300

圧倒的集客

成長加速

中国向け越境ECが伸張

4天猫国際、中国向け販売の拡大









11月11日(独身の日)に向け販促拡大

⑤Happy On Timeによる 単価・リピート率向上

待たないしあわせ。

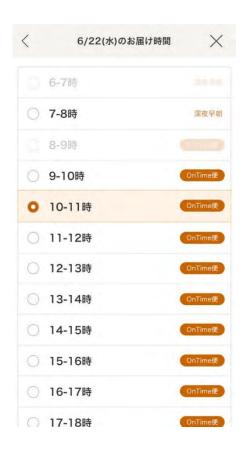
Happy On Time

「1時間単位の指定」 「30分単位のお届け予定」 「10分前の直前お知らせ」 LOHACO新受取りサービス8月31日スタート

独自の配送サービスで売上高拡大をめざす

⑤ Happy On Timeによる 単価・リピート率向上

「3つの時間」を約束、3,000円以上購入で1時間単位の指定料無料







1時間単位の指定 30分単位のお届け予定 10分前の直前お知らせ

⑤ Happy On Timeによる 単価・リピート率向上

3,000円以上購入で 1時間単位の指定料無料

オーダー単価向上

「1時間単位の指定」 「30分単位のお届け予定」 「10分前の直前お知らせ」

リピート率向上

段ボールを使わない エコな簡易パック導入





LOHACOは5つの施策により 2Q以降の成長を加速

付 録

17/5期 連結業績の見通し

	16/5期		17/5期		
	実績	売上高 比率	計画	売上高 比率	前期比
	億円	%	億円	%	%
売上高	3,150	100.0	3,480	100.0	110.5
売上総利益	703	22.3	789	22.7	112.3
販売費および 一般管理費	618	19.6	694	20.0	112.4
営業利益	85	2.7	95	2.7	111.5
経常利益	85	2.7	95	2.7	110.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	1.7	55	1.6	104.6

通期業績の見通しに変更なし

17/5期 第1四半期 品目別売上高 單体

	16/5期 1Q		17/5期	1Q
	億円	前年同期比%	億円	前年同期比%
OA·PC	220	106.7	223	101.7
文具	95	108.6	99	103.9
生活用品	211	131.7	247	116.6
ファニチャー	49	106.1	49	100.6
MRO	57	119.4	66	115.4
その他 (メディカル等)	41	116.1	45	109.9
合 計	676	115.4	732	108.3

単体売上高も 過去最高

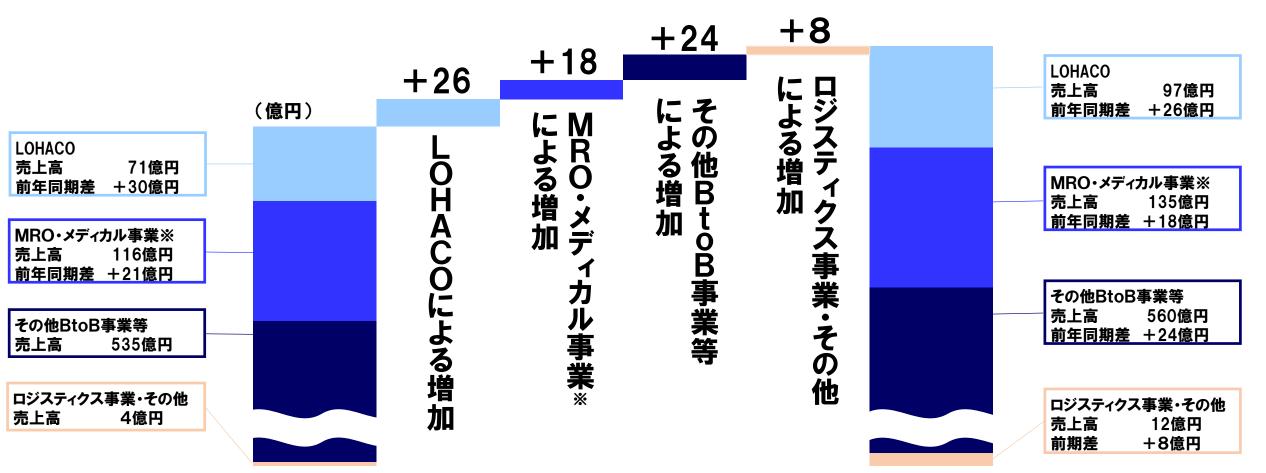
注力品目は 2桁成長継続

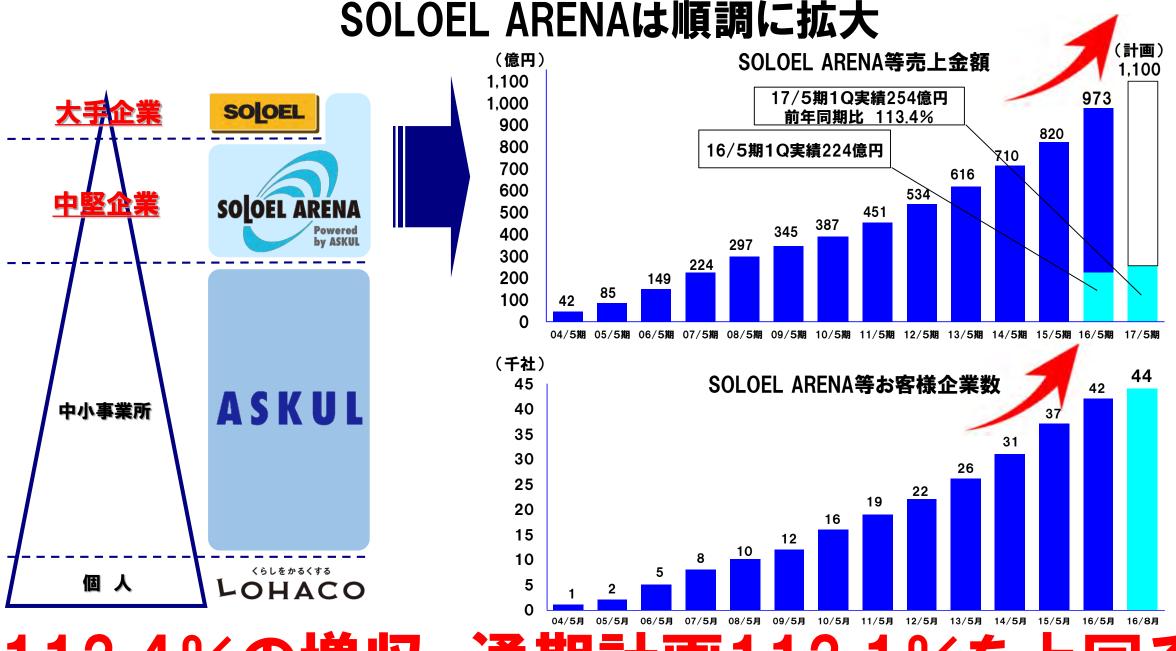
17/5期 第1四半期 連結売上高の増加要因

16/5期 第1四半期(実績) 売上高 727億円 前年同期差 +97億円

前年同期比 115.5%

17/5期 第1四半期(実績) 売上高 805億円 前年同期差 +77億円 前年同期比 110.7%





113.4%の増収、通期計画113.1%を上回る

新カタログ発刊



「アスクルカタログ2016秋·冬号」 2016年8月発刊

総ページ数	1,280 ページ
取扱商品数	約 35,200 アイテム
新規取扱商品数	約 2,200 アイテム
オリジナル商品数	約 6,550 アイテム
グリーン商品数	約 13,000 アイテム

<参考> 2016春・夏号(前号)の概要

総ページ数:1,272ページ

取扱商品数:約34,600アイテム

新カタログ発刊~独自性~



新カタログ発刊~競争力~



新カタログ発刊~環境~



17/5期 第1四半期 連結 売上総利益、販売費および一般管理費

売上総利益額 179 億円 前年同期差 +13億円

売上総利益率 22.3% 前年同期差 △0.5ポイント

> 為替ポジションの影響

販管費 167億円 前年同期差 +30億円

売上高販管費比率 20.8% 前年同期差 +2.0ポイント

- <販管費の前年同期差の主な内訳>
 - ·BtoB事業の増収にともなう変動費の増加 +7億円
 - ・新センター稼動による物流固定費(地代、償却費等)の増加 +4億円
 - ・LOHACOのTVCMにともなう広告宣伝費の増加 +6億円

17/5期 第1四半期 連結 設備投資

設備投資額 11億円(年間計画 64億円)

LOHACO関連 3億円

(参考)減価・ソフトウエア償却費 10億円(年間計画 46億円)

投資詳細

(単位:百万円)

科目名	16/5期 第1四半期	17/5期 第1四半期	
	金 額	金 額	前年同期比
【設備投資額】	526	1,137	+116.1%
有 形 固 定 資 産	149	571	+283.4%
無形固定資産	377	566	+50.0%
建設仮勘定(注2)	2,256	20	△99.1%
ソフトウェア仮勘定(注2)	511	671	+31.3%

- (注1) 設備投資額は発生ベース額にて記載しております、減少分は反映しておりません。
- (注2) 建設仮勘定およびソフトウエア仮勘定は一部消費税等を含んでおります。

17/5期 第1四半期 インターネット売上高比率・オリジナル商品

インターネット売上高比率

				16/5期 第1四半期	前期差	17/5期 第1四半期
イン	ターネ	ネット糸	圣由	78.3%	+1.9ポイント	80.2%
上	記	以	外	21.7%	△1.9ポイント	19.8%

(注1) 売上高比率は、受注ベースで記載しております。

オリジナル商品

(単位:アイテム)

	16/5期 8月度	17/5期 8月度	前年同月度差
オリジナル商品数	5,793	7,472	+1,679
単体売上高構成比	17.3%	17.6%	+0.4 ポイント
(うちBtoB事業)	(19.0%)	(19.9%)	(+0.9ポイント)

- (注1) 各期8月度の単月実績を記載しております。
- (注2) 売上高構成比率算出に用いるオリジナル商品売上高(分子)には、オリジナル・コピーペーパーは含まれておりません。
- (注3) 各数値には、医療機関向けカタログ、衛生・介護用品カタログを含みます。